



## 総合学習の成果発表で小中学生が議場にきました

**令**

和4年12月21日に  
下川中学校3年生

19名が総合的な学習の時間（森林環境・まちづくり）で学習した内容をまとめ、議場で発表しました。このような学習発表会などで議場を使用することは初めてのことになります。

下川町が令和3年3月に宣言を行った「ゼロカーボンシティしもかわ」の理念に基づき、「エネルギーの見える化」「再生可能エネルギー」「ものづくり・ファッション・交通」「食とゴミ」の4グループに分かれ学習をしてきています。

発表会には、近藤議長が出席し、町長や教育長、ゼロカーボン推進戦略室長なども同席しました。グループごとに10分ずつ発表し、それぞれに近藤議長などから感想がありました。

発表会の最後に、町長から「たくさん議論で

着眼点を設定し、短い時間で体系的にまとめ、具体的な方策を示している。感銘を受けた」と講評がありました。

令和5年2月20日には、下川小学校6年生24名が総合的な学習の時間において、これからの下川町のあるべき姿について、森林・福祉・多文化共生という観点から学習し、実践した内容を議場で発表しました。

発表会には、近藤議長が出席し、町長や教育長などが同席しました。チームごとに12分ずつ発表し、福祉チームでは考えたゲームや点字の体験も行いました。

最後に、町長、教育長、近藤議長より講評があり、様々な提言など大変貴重な時間となりました。



下川小学校「森林チーム」発表の様子



下川中学校議場入場の様子